

1書名	求職者に対する訓練コースのコーディネート等に関する調査研究				
2発行番号	調査研究資料No. 137	3分野	離職者訓練	4担当室	訓練技法開発室
5目的					
<p>(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下、「雇用支援機構」という。）には、長年培ってきた訓練カリキュラムや訓練の手法など多くの資源を整理し、再構築することにより、業種、訓練形態などを超えて、横断的・汎用的に活用できる支援の仕組みを構築し、雇用情勢や政策の変化に弾力的に対応して研究開発する役割が求められると考えられる。</p> <p>このような状況において、雇用支援機構は、国の職業訓練政策を先導してきたノウハウを活かし、民間教育訓練機関の実施する職業訓練をコーディネートする役割を、過去に委託訓練事業や職業能力形成プログラム事業等で培ってきたところである。雇用支援機構には、この経験・ノウハウを民間教育訓練機関へ移転し、円滑に職業訓練への参入・運営ができるよう相談・援助する役割が期待されている。</p> <p>求職者支援訓練に参入する民間教育訓練機関においては、認定要件が最低条件として満たされる必要があるが、それ以上に職業訓練の意義・目標、クラス運営、就職支援などの重要性について啓蒙していく必要がある。平成24年度からは、求職者支援訓練に特化して研究を進め、「求職者支援訓練 質向上のためのヒント集（仮称）」を作成し、民間教育訓練機関に対する雇用支援機構の支援の向上を狙うものである。</p>					
6概要					
<p>本報告書は5年計画の4年目の活動として、民間教育訓練機関の質保証の取組等の実態を把握し、職業訓練を実施するなかで質の向上を図っていくための支援のあり方について取り組み、具体的には、「求職者支援訓練 質向上のためのヒント集（仮称）」（試作第1版）を昨年を作成して、本年は改訂作業を行った。なお、計画が1年早まって最終年度とした。</p> <p>第1章 調査研究の目的・経過</p> <p>第1節 背景と目的</p> <p>第2節 共同の調査研究について</p> <p>第3～6節 調査研究の経過（H22～H25）</p> <p>第2章 民間教育訓練機関に対する訓練コーディネート ※平成23年度、中間報告から引用</p> <p>第1節 訓練ニーズの把握と企画</p> <p>第2節 訓練カリキュラムの設計</p> <p>第3節 訓練運営体制・計画の設定</p> <p>第4節 求職者支援訓練への応用</p> <p>第5節 職業訓練のコーディネート</p> <p>第3章 最終報告</p> <p>第1節 今後の課題・展開</p> <p>資料編 I～IV</p> <p>「求職者支援訓練 質向上のためのヒント集（仮称）」（試作第1版の改訂案）ほか</p>					
7本書の活用方法					
<p>求職者支援訓練に特化した形で「求職者支援訓練 質向上のためのヒント集（仮称）」を作成した。これは機構職員に対して、職業訓練における民間教育訓練機関への質の向上及び指導業務において、活用することができる。</p>					

注記 本報告書等は、基盤整備センター「職業能力開発ステーションサポートシステム  
・基盤整備センター刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>